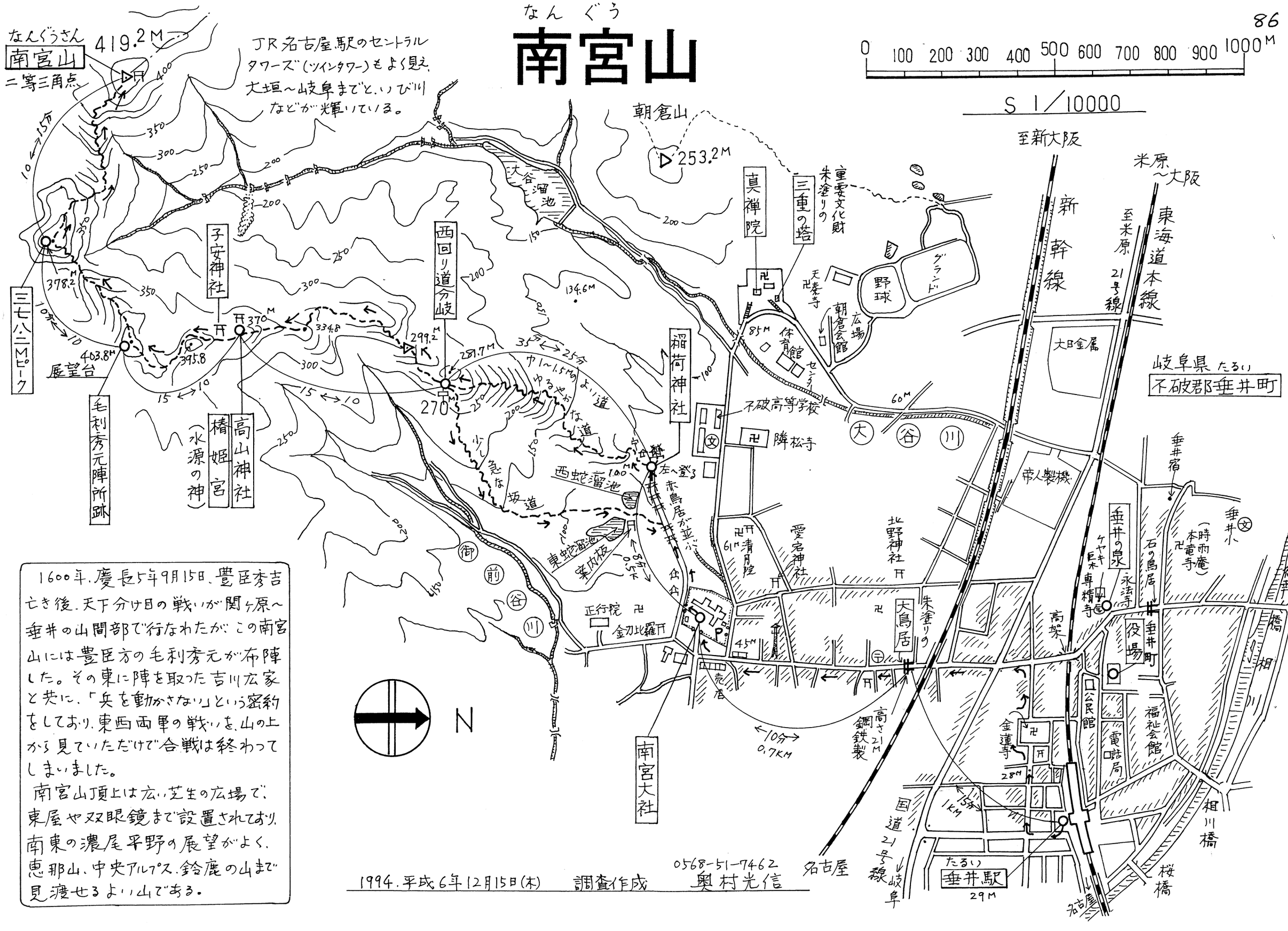
南宮山（なんぐう）

0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000M

S 1／10000



1600年、慶長5年9月15日、豊臣秀吉亡き後、天下分け目の戦いが関ヶ原～垂井の山間部で行なわれたが、この南宮山には豊臣方の毛利秀元が布陣した。その東に陣を取った吉川広家と共に、「兵を動かさない」という密約をしており、東西両軍の戦いを、山の上から見ていただけで合戦は終わってしまいました。

南宮山頂上は広い芝生の広場で、東屋や双眼鏡まで設置されており、南東の濃尾平野の展望がよく、恵那山、中央アルプス、鈴鹿の山まで見渡せるよい山である。

0568-51-7462
奥村光信

1994．平成6年12月15日（木）　調査作成